

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児保育園ヘレン東雲		
○保護者評価実施期間	2024年10月24日 ~		2024年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年10月24日 ~		2024年11月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの成長、体調の変化をつぶさにみて臨機応変な支援や関わりを行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもの状態に応じた関わり方や支援の方法、ツールを取り入れています。 ・限られた環境（スペースや設備）でも十分支援ができるよう手作りのパーテーションやグッズで快適に過ごせるよう工夫しています。 ・保護者とのやり取りを密にして体調変化やご家庭での取り組みを参考に、園での過ごし方や活動に取り入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との連携を深めるための支援者会議に積極的に参加し、情報共有・提供を通じて、よい支援をつくっています。
2	職種を超えたスタッフ間の連携をとって子どもの成長や発達をチームで支えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・できないではなく、できるための工夫を常に考えて提案し、話し合っており取り組んでいます。 ・日々の情報共有と合わせて、課題や問題が生じたときには迅速に改善の話し合いを行い、実行しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育面、看護面それぞれの視点の勉強会を企画、実施しています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境や設備面（スペースが限られていることや電源等が十分確保できていない）	バギーや座位保持椅子、医療的デバイスを利用する子どもが多く、スペース確保が必要となるため	<ul style="list-style-type: none"> ・時間ごとに活動を分けて子どもの状態、状況に合わせて過ごせるようにします。
2	地域や外部とのつながりをもっと増やしていけるとよい	コロナ禍で感染防止を徹底していたため	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の短大の学生ボランティア受け入れや地域の公共施設の行事に応募するなど徐々に接点を増やしています。また継続的にコンタクトをとっていくことで日常の困りごとや相談をしやすい関係づくりに努めています。
3			